一般社団法人安来青年会議所 2020年度スローガン

大樹の如く

～未来を切り拓き新たな価値を導こう～

題字　理事長　木下　淳

JCI™
Junior Chamber International YASUGI

一般社団法人
安来青年会議所
広報誌ふれあい

2020年度
第54代理事長
木下　淳
㈱木下工務店
2013年入会

安来市民の皆様へ

新年、あけましておめでとうございます。

私は二〇二〇年度一般社団法人安来青年会議所第五十四代理事長を務めさせていただきます木下淳と申します。

一般社団法人安来青年会議所の運動に対しまして平素より格別のご高配戴きありがとうございます。本年度も変わりませぬ、ご理解とご支援賜りますようよろしくお願い致します。

子

二〇二〇年度　基本方針

一、まちの未来を見据え、埋もれた見えないものに価値を見出す

二、郷土愛とは何かを追求し、共育を通して未来のたからを育む

三、JCの魅力と価値を誰もが共感する人間力の向上と会員拡大

はじめに

「人が成長するときはどんな瞬間であろうか。」困難や逆境に打ち勝ったとき、出来ないと思っていたことや新たな事業を成し遂げたときなど、要因は様々あると思うが、そこに必要なのは自身の考えや行動に自信をもつ「自尊心」どん欲に粘り強く追い求める「探求心」積極的に行動しより高いものを目指す「向上心」ではないだろうか。

安来青年会議所に入会以来、短い年月ながら今日に至るまで、それまでの日常では経験したことのない様々な機会を与えていただきました。期待に応えようと向き合っていく中で、青年会議所での気づきや学びが自身の成長に繋がったと実感するようになりました。さらに、その過程で多くの仲間や地域の方々に支えられ今の自分が存在できていることへの感謝の心も抱くようになりました。その成長と感謝が誰かの笑顔と共感を生み出し、新たな未来へ挑む力を与えてくれました。

令和という新たな時代が始まり、急速に変化していく世の中でも青年会議所の創始の精神、理念は変わりません。成長する機会があっても成長できるかは自分自身が導かなければなりません。２０２０年度私たちは地域に如何なる価値をもたらすことができるのか、その運動をもって如何なる成長という価値を得ることができるのか。未来を切り拓き、新たな価値を導くよう揺るぎない覚悟で可能性を追い求め行動していきます。

今よりもっといいまちに

子どもたちに、明るい豊かなふるさとを渡すには、今、何をすべきなのでしょう。地域をより良い未来にしていくためには、そこに住み暮らす人が地域の未来を描くことが必要不可欠です。それは一人ひとりの生活に置き換えても同じことが言えます。家庭においても、会社や団体においても、どのような未来にしていきたいかを描くことができなければ、より良い未来は訪れません。特に子育て世代である大人がその背中を見せなければ、子どもたちが明るい未来を描くことはできないでしょう。

急速に変化していく世の中。1年後はどうなっているのか分からないほど変化の速い時代であり、5年10年先にどうなっているかなど予測できません。気が付いたときに行動を起こそうと思った時にはすでに遅く、時代の波に取り残されてしまいます。

しかし、劇的に変化することだけが成功ではありません。地域の持つ潜在的な力を、価値を、時代の変化とともに、視点を変え、創意工夫をもって変化させていく。そしてその価値観を共有し、自分たちのたからとして磨き続けることが重要です。未来のまちの在り方を見据え、今よりもっといいまちにしていくという想いと行動に意味と価値があると確信しています。

どのような未来にしたいのか。その未来を実現するためには何をしなければならないのか。それを一人ひとりが描くことができたならば、明るい未来が切り拓かれるでしょう。地域の埋もれた見えないものに価値を見出す、誰もが憧れる「いいまち」を創造する事業を展開していきましょう。

共育で育む未来のたから

私たちが子どもの頃、私たちを育ててくれたのは、家庭や学校だけではありません。友達の家族や近所の大人が我が子のように見守り、時には厳しく育ててくれました。しかしながら、家族形態の多様化や少子高齢化、インターネットの普及などの時代背景の変化により、地域コミュニティーや郷土に対する想いは希薄化し、人の心と心の距離が離れていっています。それに伴い、青少年を取り巻く環境は大きく変化しているのではないでしょうか。

かつては公園などのコミュニティースペースへ足を運び相談や情報交換をしていたものが、今ではその場がSNS等へと移り、インターネットを介せば見ず知らずの人でも繋がる時代へと変化しました。このように私たち大人自身が地域との関わりを持つ機会が少なくなり、地域コミュニティーが希薄化してきているため、かつてのように日々の生活から学び、大人から子どもへ、先輩から後輩へ受け継がれてきた、コミュニケーション能力や道徳心、郷土愛を培う機会が減少してきているのだと考えます。

青少年を育成していく上で重要なのは地域と大人であり、単に子どもたちを対象とした事業を行うのではなく、子どもたちと地域や大人をいかに結び付け、心を育むべき大切な期間にどのような教えを受け、どのような体験をすることができるかです。

子どもたちは、このまちの未来を担う大切な存在であることは言うまでもありません。地域コミュニティーはそこに住み暮らす人で形成され、郷土愛はそこに住み暮らす人の繋がりで培っていくものです。地域で子どもを育み、おもいやり溢れる道徳心と未来の安来を担う郷土愛を共に育んでいきましょう。

JCの魅力と価値を導く

ふるさとの発展を望み、安来青年会議所が魅力ある団体として地域に貢献していくには、時代の流れを感じ取り、迅速かつ柔軟に対応し運動を展開していく必要があります。そのためには、多くの情報を収集し何が必要であるかを見定める力が必要です。強い責任感と自己研鑽の心を持ち、未来を切り拓く戦略と戦術を計画する知性を磨くことで、魅力ある人財を育成していきましょう。

また、子どもたちが少なくなっていく社会に未来がないように、会員拡大に消極的な青年会議所に未来はありません。会員拡大を進めるにあたって、青年会議所の魅力を多くの市民に知っていただくことも重要ですが、まずは会員全員で青年会議所の魅力と価値を共有することが大切です。組織が大きくなることがすべてではありませんが、会員が増えるということは、より多彩な価値観を得るということです。それぞれの異なった価値観や意見、行動が幾重にも重なり、より多くの斬新な発想が生まれ、より効果的な運動に繋がり、地域をより良い方向へ導く力となります。また、会員自身も多くの異なる価値観と触れ合うことで自身の成長や、その後の人生を大きく変える機会と出会えるチャンスも増えるでしょう。

誰もが人との関わり合いの中で喜びを共有し助け合い、励まし合い、時にぶつかり合いながら成長していきます。目的に向かってどれだけ多くの人を巻き込みながら挑戦できたかが青年会議所で得る大きな学びであり、魅力であり、価値の一つです。自分の足で歩き、行動を積み重ねることで、多くの魅力と価値を導きましょう。

むすびに

私は、安来青年会議所に入会して本当に良かったと思っています。振り返ればこれまでのJC運動において、困難や挫折にも遭遇し、面倒と感じたこともありました。一方で、心が震えるような出会いや機会にも巡り合い、仲間と共に考え行動する喜びや苦労を分かち合うことで得られる感動や、今までは想像もできなかった強い自分がいることに気づくことができました。

新たに事業を計画し実行することは大変なことですが、JCに入会すると自分で決めた以上「とにかくやってみる」ことで、様々な機会を手にし、限りあるJC生活のかけがえのない経験を胸に刻み込みましょう。

未来を切り拓くことは簡単ではありません。「痛みなくして得るものなし」つまり、本当に価値ある何かを手に入れようとするのなら、それに見合う痛みや苦労が必要になります。自分から動かない限り何も得ることはできません。明るい豊かな社会の実現のため、困難や挫折を乗り越え自分で選んだ道をかき分けて進みましょう。傷だらけになった両手が輝いて見える「成長」という価値を導くため、このまちの未来のため、大樹の如く運動を進めていくことを誓い、2020年度理事長所信とさせていただきます。

導く地域の未来委員会

2020年度
導く地域の未来委員会
委員長
間　大介
㈲ハザマ
2019年入会

明るい豊かな社会の創造を目指す青年会議所は地域社会での運動がその基本です。そこに住む人々や子どもたちにより良い環境を残すためにも、多角的・継続的な運動が求められます。また時代の変革とともに地域社会が欲求するものは多様・高度化しており、強い連帯感と愛情を育んで市民主導型の地域社会づくりに努める必要があります。しかし、過度の変化を求める余り築き上げてきた歴史や文化を蔑ろにしては、よりいまちの創造はできません。

そこで私たちは安来の持つ魅力や価値にもう一度目を向け直し、今よりもっといいまちづくりを目指すことを目的とし、先人が豊かに育んできた文化的資質を大切にする中で、視点を変え、創意工夫をもった運動を展開し、伝統文化を継承させながら現代文化の発展を図ります。また、このまちの文化や歴史に触れる事業を通してそれぞれが価値を見出し、ふるさとをより一層好きになることで安来の文化に誇りと自信を持ってもらい、今後の未来の意識向上発展に繋げていきます。そしてその価値観を共有し、磨き続けることでまちの産業の発展、活気あるまちの創造、子どもの未来の架け橋となっていきます。

ここに住む大人や子どもたちが地元の素晴らしさや価値、魅力を再発見し、このまちを誇れることこそが安来をより活性化させ活気あるまちにする起爆剤になると信じています。誰もが憧れる「いいまち」に導けるよう志を一つに委員会一丸となって取り組んで参ります。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

導く未来のたから委員会

2020年度
導く未来のたから委員会
委員長
宇山 賢二
大同生命保険㈱山陰支社松江営業所
2017年入会

核家族の増加により共働き世帯が増え、インターネットの発達により情報取得が容易となっている現代、親同士が顔を合わせ、情報交換を行う機会が減少しています。以前のように親子で地域の人々と関わり合い、地域全体で子育てを行う中で自然と培われていた子どもたちのコミュニケーション能力や道徳心、郷土愛が環境の変化により失われつつあると考えます。

そこで私たちは、大人と地域の関わり合いを増やし、子どもたちと地域を結び付け、地域全体で子育てを行う環境づくりに寄与することを目的とし、まずは大人に安来を含めた様々な文化に触れてもらい、その中で良いものは受け入れ、現在の安来に合わないと感じたものはどのように対応していくかを考えることで改めて安来を見つめ直すきっかけとし、自分の中にある郷土愛を思い返し、その心を子どもたちと共有してもらいます。また、地域を越えた子どもたちのつながりを作り普段触れることのない経験をしてもらうことで、コミュニケーション能力や互いを思いやる心を育んでいきます。

安来の将来を担う子どもたちを育てるのは親や学校だけではありません。住み暮らす地域全体で未来のたからである子どもたちを育むことで、郷土愛は育まれます。そして大人になったとき、同様に地域全体で子どもたちを育んでくれることでしょう。その明るい未来へと私たちが導くことができるよう、率先して行動することを宣言して委員長所信と代えさせていただきます。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

導くＪＣの魅力委員会

2020年度
導くＪＣの魅力委員会
委員長
内田 浩平
㈲松浦建設 取締役
2018年入会

私たち青年会議所では地域社会をより明るい豊かな社会へと導くため日々運動を続けています。今後さらに魅力ある団体になるためには、会員の資質向上と拡大が重要であり、変化する時代を見据え、一人ひとりが考え行動する開拓者となることが必要です。

そこで当委員会では、会員一人ひとりが「一年間の運動の中で個々の目標を達成するためには何をすべきか」進むべき方向を見定め、「成果を出すための具体的な方法」手段を思考し実行する人財育成を展開します。しかしどんなに良い人財であっても、一人で行動することには限界があります。この限界を切り拓くためには仲間と力を合わせなければなりません。自分と違う考え方を学び、同じ目的に向かって時にはぶつかり合いながら一つのものをつくり上げていくことが自分の成長へと繋がるのです。そして会員の意識改革を行うとともに青年会議所の魅力の共有へとつなげ率先して会員拡大を行うことで青年会議所の存在や意義を知ってもらい、新しい時代を導く同志の輪が広がっていくことを目的とします。

時代の変化や違う価値観を取り入れる柔軟性と探求心、向上心を持ち合わせ、言われたことをやるだけでなく、一人ひとりが考え発言し、行動に移すことこそ未来を切り拓く人財育成になります。そしてその機会を与えることが青年会議所の意義であり魅力であると確信しています。

会員一人ひとりが責任を自覚し、安来市の未来を切り拓くために切磋琢磨していきますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

新入会員所感

このたび安来青年会議所に入会いたしました高橋史加と申します。経験豊富な先輩方のもと、学ばせていただけることを大変有難く思います。この機会を大切にして、自分の成長に繋げていけるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

JCI **高橋 史加** Sylph Raum 代表

昨年5月に正会員となり、安来青年会議所に入会させていただきました、石井寛幸と申します。弊社は本社が兵庫県の姫路市にあり、3年前に、ここ安来の地で支店をオープンいたしました。地域貢献のひとつとして、JC活動を通じ安来市の「まちづくり・ひとづくり」に貢献できるよう邁進していく所存でございます。

JCI **石井 寛幸** ㈱三共スチール 営業主任

昨年7月より安来青年会議所に入会させていただきました間大介と申します。短い在籍期間となりますが、理事長はじめJCメンバーの皆様にご指導いただきながらJC活動を自ら率先して行動し、明るく豊かでより良い安来市の発展に貢献できるよう全力で励んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

JCI **間 大介** ㈲ハザマ

今年38歳になる足立隼人と申します。JC運動を通して安来のまちづくりに貢献し、メンバーと共に成長できるように努力して参ります。在籍期間が残り少ないですが、駆け抜けてまいりますのでどうかよろしくお願いします。

JCI **足立 隼人** ㈲足立建設 専務取締役

この度、安来青年会議所に入会させていただくことになりました、國須香織と申します。例会に出席させて頂く度に、理事長をはじめ、会員の皆様のスピーチ力や行動力に圧倒されるばかりです。これから勉強させていただいて一回り成長したいと思いますので、よろしくお願い致します。

JCI **國須 香織** がまがえる

2019年12月に安来青年会議所に入会しました古藤靖大と申します。以前まで安来青年会議所の存在は存じていましたが自身が関わるとは思ってもいませんでした。この度。諸先輩方にご縁をいただき入会させていただきました。新たな人たちと共に活動、様々な経験をすることで自身の成長をし地域の活性化に貢献していきたいと思います。

JCI **古藤 靖大** ㈲丸和運輸

会員募集

安来青年会議所ってどんなところ?

青年会議所は、20歳から40歳以下の青年経済人によって組織される「まちづくり」「ひとづくり」の団体です。「明るい豊かな社会」の実現を理念とし、このまちの未来を考え行動しています。

日本には青年会議所が694の地域にあり、約3万3千名（2019年11月1日現在）の会員がいます。全ての会員は、40歳を超えると現役を退いてOBにならなくてはなりません。この年齢制限こそ青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動へと導いてくれます。また、青年会議所の代表である理事長をはじめとする多くの役職の任期は1年に限られています。1年ごとに様々な役職を経験することで、会員は豊富な実戦経験を積むことが出来、自己修練の成果を個々の運動にフィードバックさせていけます。

安来青年会議所に入会しませんか?

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所の理念にご賛同いただき、ふるさと安来のために率先して運動したい!というあなた、是非、安来青年会議所に入会してみませんか?

2020年度役員 紹介

理事長 木下 淳
直前理事長 大和 晃介
副理事長 中田 康太
副理事長 遠藤宗一郎
専務理事 景山 潤一
監事 金山 栄達
導く地域の未来委員会 委員長 間 大介
導く未来のたから委員会 委員長 宇山 賢二
導くJCの魅力委員会 委員長 内田 浩平

青年会議所はSDGsを推進しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

「ふれあい新年号」は左記の皆様のご協賛をいただき、発行いたしました。（順不同）

㈱木下工務店
㈲丸和運輸
㈲中田建設
遠藤社会保険労務士事務所
景山総業㈲
㈲山陰UP販売
㈲ハザマ
㈲松浦建設
㈲足立建設
㈱三共スチール
がまがえる
㈱はしまや

発行所
一般社団法人 安来青年会議所
理事長 木下 淳
安来市飯島町1240-3
☎22-3038
編集 導く未来のたから委員会
編集長 宇山 賢二

（一社）安来青年会議所への お問い合せ・ご質問・ご要望は （一社）安来青年会議所事務局
〒692-0014 安来市飯島町1240-3 TEL0854-22-3038 FAX0854-22-3293 E-mail:yasugi-jc@galaxy.ocn.ne.jp http://yasugi-jc.com
対応時間:月曜日・水曜日・金曜日(9:00～16:00) 広報誌『ふれあい』についてのご感想・ご要望もお待ちしております。